

ぶんかたいしらいこう 文化大使来校！！

れいわ ねん がつ にち か
令和7年1月14日（火）

きょう きたきゅうしゅうしぶん か たいし きつきよくか へんきよくか わだ なおや こ
今日は、北九州市文化大使で、作曲家、編曲家の和田直也さんにお越しいただきました。



ねんせい おんがく ようす
5年生の音楽の様子です。

ねんせい てびょうし つか えんそう おと き
5年生が手拍子を使って演奏したら、「ピアノの音を聞いてないよね」

「ピアノにあわせて弾いてみよう」、と一言アドバイス。

バラバラだった手拍子が一遍に揃いました。

さらに、いちどえんそう かだい あた
さらに、一度演奏するたびにレベルアップする課題が与えられました。

「2つのパートの奏者同士で向きあってやってみよう。」

「手のどこかを叩いたらきれいな音が出るかな？工夫してみよう。」

「何人か代表の人にやらしてもらおう。聞いてみて。」



フォルティシモや一番^{いちばん}力^{ちから}を入れるところなど、楽譜^{がくふ}からも演奏^{えんそう}の仕方^{しかた}を考^{かんが}えてもらいました。

手拍子^{てびょうし}からはじまり、次々^{つぎつぎ}と課題^{かだい}が与^{あた}えられ、音^{おと}がきれいに揃^{そろ}い、強^{きょう}弱^{じやく}がついてきました。

学^{がく}習^{しゅう}参^{さん}観^{かん}では、この機^き会^{かい}にレベルアップした演奏^{えんそう}が聞^きかれると思^{おも}います。お楽^{たの}しみに！！